

SAFETY DATA SHEET

August 30, 2019

1. 会社情報

製品名	高濃度 石材強化剤 (OXC-340)
会社名	株式会社 OSHIROX
住所	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋 4-1-55
部署	研究開発部
電話 / FAX 番号	06-6690-7372 / 06-6690-7373

2. 危険有害性

物理的・化学的危険性:	引火性液体:	区分 3
健康に対する有害性:	急性毒性	区分 4
	経口:	区分外
	経皮:	区分外
	吸入:	区分外
	皮膚腐食性/刺激性:	区分 2
	重篤な眼の損傷/刺激性:	区分 2B
	呼吸器感作性:	現在の所区分に関する情報なし
	皮膚感作性:	現在の所区分に関する情報なし
	生殖細胞変異原性:	現在の所区分に関する情報なし
	発がん性:	現在の所区分に関する情報なし
	生殖毒性:	現在の所区分に関する情報なし
	特定標的臓器 / 全身毒性 – 単回:	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器 / 全身毒性 – 反復:	区分 2 (中枢神経)
	吸引性呼吸器有害性:	区分 1
環境に対する有害性:	水生環境有害性:	急性: 区分外
		慢性: 区分外
	オゾン層への影響:	区分不可能

危険有害性絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- 引火性液体および蒸気
- 飲み込むと有害のおそれ
- 皮膚に刺激のおそれ
- 目に刺激のおそれ
- 気道に刺激のおそれ
- 眠気およびめまいのおそれ
- 長期または反復暴露による臓器への障害のおそれ

注意書き:

予防策:

- よく蓋をすること。

- 熱源、火気、および火花から遠ざけること。
- 容器は地面に置くかしっかり固定すること。
- 防爆設備の元で取り扱うこと。
- 静電気に対する予防策を講じること。
- 防爆形無火花工具を使用すること。
- ミストや蒸気を吸入しないこと。
- 屋外または風通しのよい場所で使用すること。
- 使用前に教育を受けること。
- 安全予防策をよく理解してから使用すること。
- 保護手袋、保護眼鏡、およびフェイスガードを着用すること。
- 本製品を使用しているときは飲食および喫煙はしないこと。
- 使用後は手をよく洗うこと。
- 環境への放出は避けること。

対応:

- 火災時は粉末消火剤、二酸化炭素、泡、スプレー散水、および乾燥砂を使用すること。
- 吸入した場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。
- 皮膚に付着した場合、直ちに石鹼を用いて多量の水で速やかに洗い流す。汚染された衣服を直ちに脱ぎ捨てる。
- 皮膚に刺激が生じた場合、医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合、直ちに清浄な水で数分目を洗浄する。コンタクトレンズを付けている場合は外す。
- 眼に刺激が生じた場合、医師の診察を受けること。
- 暴露または暴露の懸念があるときは専門家に相談すること。
- 気分が悪くなったら医師の診察を受けること。

保管:

- 荷崩れ防止処置を講じて保管すること。
- 風通しのよい冷暗所に場所に保管すること。
- 蓋をよく閉めて保管すること。

廃棄:

- 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理すること。または各地区の法令に従うこと。

3. 組成 / 成分情報

単一化合物・混合物の区分	混合物
成分	シリケート: 90%~95% シラン: 5%~10% 合計: 100%
製品の用途	コンクリート、レンガ、タイルなど石材全般の強化
CAS No.	混合物、社外秘
UN No.	クラス 3 (引火性液体) 石油蒸留物 1268

4. 応急処置

吸入した場合: 直ちに新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで被い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合は人工呼吸を行い、呼吸困難の場合は酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合: 直ちに石鹼を用いて多量の水で速やかに洗い流す。汚染された衣服を直ちに脱ぎ捨てる。皮膚に刺激が残る場合は医師の診察を受ける。

眼に付着した場合: 直ちに清浄な水で最低 15 分以上眼を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が行き渡るように洗浄する。洗浄後医師の手当を受ける。

誤飲した場合: 無理に吐かせないで、医師の手当を受ける。意識が無い場合には何も与えないこと。

5. 火災時の処置

引火性特性: 引火点 41.5°C (タグ密閉式引火点試験器)。

有効な消火方法: 粉末消火剤および二酸化炭素。

- 広範囲の消火には泡消火が有効である。
- 注水するときは距離を十分に取り、火元周辺にも注水すること。
- 消防士は適切な保護具を着用すると共に呼吸装置を着用すること。

危険な燃焼生成物: 一酸化炭素、煙、蒸気、および二酸化炭素。燃焼中には有毒ガス (二酸化炭素) を生成する。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項:

- 全ての引火源から遮断し、全ての人員を火気の無い安全な場所に避難させる。喫煙は禁止とすること。
- 適切な保護具を着用すると。

環境に対する注意事項:

- 下水道や河川などには洗い流さないこと。

封じ込めおよび洗浄方法:

- 少量の場合、土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、産業廃棄物として破棄する。
- 大量の場合、漏出した液は土砂等で流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、産業廃棄物として破棄する。河川、水道等に排出されない様に注意する。
- 残りをウエスなどで拭き取る。

7. 取り扱いおよび保管

取り扱い:

- 使用中および蒸気が無くなるまでは全てのガスの導線、電子着火源、および全ての着火源から遮断すること。
- 下水道や配水設備への流出は避けること。
- 取扱時は適切な保護具を着用し、接触や吸入を避けること。
- 局所排気装置を使用すること。

保管:

- 蓋をしっかりと閉め、風通しのよい冷暗所に保管すること。
- 熱源、火気、点火源、および直射日光から避けること。
- ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、および酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8. 暴露防止措置 / 保護措置

暴露防止措置: 密閉系または局所排気装置のある場所で使用すること。

管理パラメーター: 許容濃度: 設定されていない
管理濃度: 3 mg/m³ (日本産業衛生学会、鉍油ミストとして)
5 mg/m³ (ACGIH、鉍油ミストとして)

技術施策: 適切な換気装置および局所排気装置のない場所では使用しないこと。
作業場所には緊急シャワー設備または洗眼器が使用できるようにすること。

保護具:

- 呼吸用保護具: 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
- 保護眼鏡: 飛散する恐れがある場合には普通型眼鏡またはフェイスガードを着用する。
- 保護手袋および保護具: 耐薬品性、耐油性保護手袋、不浸透性安全靴、およびエプロンまたは長袖作業着を着用すること。

9. 物理的・化学的性質

外観:	無色透明液体
臭い:	溶剤臭
引火点:	41.5°C
水への溶解性:	不溶
沸点:	> 150°C
融点:	-22°C
発火温度:	データなし
爆発限界 (n air, vol.%):	1~7
蒸気圧:	データなし
蒸気密度 (air= 1):	データなし
密度/比重:	0.77

10. 安定性および反応性

安定性:	推奨する貯蔵条件下では安定である。
回避事項:	熱、圧力、衝撃、静電気、またはその他物理的応力を避けること。
不適合化合物:	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、および酸化性物質。
有害性分解物:	メタノール
有害性重合物:	データなし

11. 毒性情報

急性毒性:	経口 LD ₅₀ 5 g/kg (ラット)
皮膚腐食性/刺激性:	皮膚刺激性のおそれあり。皮膚の炎症や乾燥を起こすおそれあり。
重篤な眼の損傷/刺激性:	眼に刺激性がある。
呼吸器感作性:	有用な情報なし。
皮膚感作性:	有用な情報なし。
発がん効果:	有用な情報なし。
生殖毒性:	有用な情報なし。
特定標的臓器特性 – 単回被爆:	呼吸器への刺激および中枢神経の障害のおそれ。
特定標的臓器特性 – 反復被爆:	呼吸器への刺激および中枢神経の障害のおそれ。
吸引性呼吸器有害性:	有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生分解性:	有用な情報なし。
生体蓄積性:	有用な情報なし。
生態毒性:	水棲生物に有害のおそれあり。
オゾン層への影響:	有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

破棄に関する安全取り扱い情報:

- 下水道、地表、または水域に破棄しないこと。

適切な破棄方法:

- 焼却装置を用いて焼却するが、引火性液体であるため特に注意すること。
- 国や自治体の規則に従うこと。

14. 輸送情報

輸送機や輸送手段に応じた予防策:

- 発火源や酸化性物質から遠ざけること。
- 国際連合危険物輸送勧告および国際協定:

国連分類:	3 (引火性液体)
国連番号:	1268 石油蒸留物
容器等級:	III
海洋汚染物質:	適用外

国や自治体の規則に従うこと。

15. 適用法令

消防法:	第四類第二石油類
労働安全衛生法:	第三種有機溶剤
航空法 (ICAO 規制):	クラス 3
船舶安全法:	告示別表第 5 (引火性液体類) クラス 3
海洋汚染禁止法:	油分排出規制 (原則禁止)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:	産業廃棄物規則 (拡散・流出の禁止)

- 本製品に含まれる成分は TSCA の既存化学物質にリストされています。
- 本製品使用者の国における規制情報に関しては、使用者の責任において調べる必要があります。

16. その他情報

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる必要があることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。したがって本データそのものは安全の保証書ではありません。また上記情報は現時点で弊社での経験および知見に基づいていますが、完全なものではありません。